

箱根駅伝予選会報告

10月17日（土）に、第97回箱根駅伝の予選会が行われました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、例年とは異なる陸上自衛隊立川駐屯地内の特設コース（21.0975km＝ハーフマラソン）において、無観客での開催となりました。コロナ禍により、毎年恒例の北海道での夏合宿を断念するなど、他大学と比較してもかなり厳しい制約条件の下でのトレーニングとなりましたが、夜間や夜明け前にポイント練習を行うなど、猛暑の中でも工夫を凝らして強化に努めてきました。

予選会当日は冷たい雨が降り続ける厳しいコンディションとなりましたが、選手たちは強い気持ちをもって積極的なレースを展開し、最後までそのハイペースを維持してくれたため、今回出走した12名のうち実に**7名がハーフマラソンの塾記録（1時間04分52秒）を上回る**驚異的な快走となり、**10時間43分49秒で総合順位19位**という結果を収めることができました。本選出場には届きませんでしたが、一昨年の26位、昨年の27位からは大幅なジャンプアップとなりました。

なお、チームトップでゴールした**杉浦 慧（政3・成蹊）**が**関東学生連合チームのメンバーに選出**されました。今回の杉浦の記録は学生連合の選手内で5番目となるため、順当であれば本選では主要区間で起用される可能性が高いものと見込まれます。今回は本選も無観客開催となり、沿道での応援は自粛となりますが、テレビ、ラジオ、SNSなどを通じての応援を、どうぞよろしくお願いします。

		今回順位	今回記録	備考	前回記録
杉浦 慧	（政3・成蹊）	55位	1:02:53	塾新 PB	1:06:46
司代 隼	（政3・希望ヶ丘）	114位	1:03:27	塾新 PB	1:05:50
前原 裕磨	（政2・熊谷）	154位	1:03:49	塾新 PB	1:09:27
森田 剛史	（経2・慶應湘南藤沢）	176位	1:04:04	塾新 PB	1:11:35
印藤 剛	（経3・慶應義塾）	181位	1:04:07	塾新 PB	—
清水 拓哉	（法3・逗子開成）	196位	1:04:11	塾新 PB	途中棄権
貝川 裕亮	（環2美濃加茂）	226位	1:04:36	塾新 PB	1:09:21
朝倉 万響	（商2・大宮開成）	253位	1:05:06	PB	—
内藤 拓海	（商3・大東文化大一）	273位	1:05:24	PB	—
前田 拓海	（法3・新潟）	322位	1:06:12	PB	1:08:53
金子 大将	（環4・明大中野）	339位	1:06:33	PB	1:13:54
鈴木 輝	（理3・浦和）	406位	1:09:02		1:06:05
総合成績	（上位10名合計）	19位	10時間43分49秒	塾新	11時間28分47秒
（参考）	本選出場ボーダー	10位	10時間33分46秒 （あと10分＝1人1分）		10時間56分46秒 （あと28分＝1人3分）
（参考）	学生連合10位ボーダー	81位	1:03:10		1:05:27
（参考）	学生連合選出ボーダー	123位	1:03:33		1:05:59

保科 光作 長距離ヘッドコーチ

平素より多大なるご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。また、予選会でもライブ中継などを通してご声援を頂いていたとお聞きしています。誠にありがとうございました。今回は、『力を出し切り、目標タイム（10時間45分）を突破できれば本選出場が叶う。目標タイムを達成した上で出場が叶わなかったら、他大学が強かったと納得するしかない。まずは能力の全てを出し切ろう』と話して、レースに送り出しました。

結果は、本選出場まであと10分及ばず19位でしたが、学生たちは「本選出場」という目標に向けて、持てる力をすべて発揮してくれました。目標タイムを突破し、力を出し切れた上で本選出場が叶わないとなると、さらなるレベルアップが必要です。しかし、この半年間、先が見えない中で不安を持ちながら、時には投げ出したくなる状況の中でもひたむきに過酷なトレーニングに取り組んできたことで学生は成長し、結果を残してくれたことをとても誇りに思います。来年に向け、さらに強化をして強い慶應をお見せできるよう一生懸命精進して参りますので、変わらぬ熱いご声援、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

小野 裕幸 長距離コーチ

今回、出場した学生の大半が設定タイムを大幅に上回る走りを見せ、チームとしては100%の力を発揮することができました。しかしながら、当日は戦前の予想を大きく上回る高速レースとなり、現状の力を出し切っても本選出場には届きませんでした。今回の結果から、来年に向けて1人当たり1分のタイム短縮が必要となりますが、ほぼ現存の戦力のまま来年に臨めること、有望な新入生の加入も決まっていることから、この「10分」は十分射程圏内だと感じています。そして何より、学生たちは今回の走りで殻を破り、チームとして今までにない良い流れがきています。

来年は間違いなく箱根駅伝プロジェクト発足以来最大のチャンスです。この好機を逃さぬよう、1年間チーム一丸となりトレーニングに取り組んでまいりますので、引き続きご声援の程よろしくお願い致します。

杉浦 慧 長距離ブロック長（政3・成蹊）

今回もたくさんの応援を本当にありがとうございました。今年は自粛期間から予期せぬ状況が続き、自分をコントロールするのがとても難しかったですが、その分自らと向き合うことで競技力を向上させ、適切な準備をして、走りに繋げることができました。塾記録を約2分更新し、目標としていたレースができました。15kmからゴールまでのタイムは、予選会出場全選手中で22位と、来年への伸び代も感じられる良い内容でした。チームタイムも昨年より44分速く、上位7名が塾記録更新と、大きく成長した姿を見せることができました。この1年間で、徐々にではありますが皆が同じ目標を見られるようになってきました。上が見えただけに、箱根との距離を痛感する結果にはなりましたが、本選まで1人あたりあと1分ですので、死に物狂いでつかみ取りにいきたいと思います。

最後になりますが、いつも本当にありがとうございます。再び新たな1年が始まりました。個人的にはラストイヤーなので、死力を尽くして臨みます。どんな舞台でも結果を残せるように、引き続き頑張りますので、今後も変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

金子 大将（環4・明大中野）

皆さま、応援ありがとうございました。今回の予選会は補欠としてエントリーされましたが、巡り巡って本番直前になってから出走の機会をいただきました。66分切り、チーム10番以内を目標に出走し、結果としては66分33秒、チーム11位と目標に一步及びみせましたが、最後の公式戦に出場することができ、3年連続の出走を果たせたこと、そして2年ぶりにハーフマラソンの自己記録を更新し、その記録を約5分縮めることができたのは、大変大きな収穫でした。本来出走する予定であった後輩たちの代わりを務めるのに恥じない走りができたと考えています。

来年は、今回チーム10番以内に入った選手が全員残り、さらに有力な新入生の入部も見込まれます。本年度以上の活躍が期待されますので、今年の出走選手はさらに上を、出走を果たせなかった選手（特に現1年生）もまずはメンバー入りを目指し、チームの上位層に対して危機感を与えられるような、そんな成長を遂げる1年を過ごしてほしいと思います。来年以降は、保科コーチ体制のチーム作りに微力ながらも現役部員として携わった立場として、チームを応援させていただきます。4年間、ありがとうございました。

スケジュール

11月	21（土） 平成国際大学長距離競技会	※無観客試合
	22（日） 関東インカレ（相模原ギオンスタジアム）	※無観客試合
12月	5（土）～ 6（日） 日体大長距離競技会	※無観客試合
	12（土）～13（日） 国士館大学長距離競技会	※無観客試合
	26（土）～27（日） 平成国際大学長距離競技会	※無観客試合
1月	2（土）～ 3（日） 箱根駅伝	※沿道での応援は自粛

慶應箱根駅伝ラッフル 2020-2021 寄付募集開始

慶應義塾体育会競走部は、2017年4月より慶應箱根駅伝プロジェクトを始動し、その強化に取り組んでおります。プロジェクト初年度から関東学生連合に根岸祐太が選出され、2018年1月の本選において復路8区を疾走しました。昨年度も司代隼（政3・希望ヶ丘）が関東学生連合のメンバーに選出されましたが、残念ながら補欠に回りました。そして今号でご報告の通り、今年度は杉浦慧（政3・成蹊）が関東学生連合の主要区間で起用される見込みです。

杉浦と司代は、慶應箱根プロジェクトの開始を知って、「慶應で箱根を目指す」という明確な意思を持って入学してきた、いわばプロジェクト1期生です。そして、このプロジェクト1期生達が最終学年を迎える来年度は、いよいよ本選出場が射程距離に入ってきました。3年前に根岸が箱根を走った際には、『根岸が10人いれば、チームとして箱根に出られる』と考えていました。記録だけで単純比較をすれば、現在のチームには根岸よりもハーフマラソンの自己ベストが速い選手が、既に9人育っています。

スポーツ推薦制度がなく、高校時代は無名だった選手ばかりのチームが、たった数年の間にここまで力をつけることができたのは、ひとえに保科、小野両コーチの指導力と、学生達の熱意や創意工夫の賜物です。慶應の育成力は、いまや学生長距離界において注目を集める存在となっています。

そして、この育成現場を支えるのに不可欠なのが、安定的な強化資金です。慶應箱根駅伝プロジェクトでは、強化資金の確保を目的として、2018年度と2019年度にラッフル(※)による寄付金を募集したところ、2年間で総額334万5千円のご支援を頂きました。無償で景品をご提供頂いた多くの企業・団体・個人の皆様と、ラッフルを通じてご寄付を頂いた方々に、心より厚く御礼申し上げます。そして、勝負の年となる2021年分の強化資金として、**慶應箱根駅伝ラッフル2020-2021の寄付受付を開始しました。**

つきましては、本プロジェクトの趣旨にご賛同頂ける皆様におかれましては、今年度も引き続き、ラッフルへのご協力を賜りたくお願い申し上げます。

※ ラッフルは「慈善福引」と訳され、欧米では寄付金を募る効果的な手法として、広く活用されています。寄付者へラッフルチケット（福引券）を交付し、慶應箱根駅伝プロジェクトを応援して下さる企業・団体などから無償でご提供頂いた様々な景品の抽選を行い、当選した寄付者へ景品を送付させていただきます。

1. ラッフルチケット購入によるご寄付

スマートフォンやPC上の簡単な操作で、慶應箱根駅伝プロジェクトの公式サイトからご寄付頂けます。



「慶應 箱根」で検索
<https://hakone-pj.keio-tf.org/>

「プロジェクトを支援する」をクリック

寄付の口数を入力して
「寄付する」をクリック

クレジットカード
またはAmazon Payで
寄付完了

2. ラッフルへの景品のご提供

企業・団体・個人の皆様から、ラッフルの景品の無償でのご提供を募集しております。ご提供頂く景品は、慶應義塾や駅伝、陸上競技、スポーツとの関連性がないものでも、慶應箱根駅伝プロジェクトへの寄付者に喜んで頂けそうな物品であれば、何でも結構です。

例) スポーツグッズ、健康食品・サプリメント、その他食品・飲料、衣料品、日用品、文具・玩具、家電製品、各種チケット類（旅行券・宿泊券、食事券など）など

恐れ入りますが、食品・飲料等につきましては、衛生管理上の都合により、生もの・温度管理が必要なもの、賞味期限が短いものなどはご遠慮ください。

景品のご提供をご検討頂ける場合には、以下の慶應箱根駅伝プロジェクト事務局のメールアドレスにご連絡ください。

hakone_raffle@keio-tf.org

3. スケジュール（予定）

強化資金ご寄付の受付期間： 2020年10月11日 ～ 2021年3月31日

ラッフル景品ご提供の受付期間： 2020年10月11日 ～ 2021年1月20日

当選発表時期： 2021年4月

景品発送時期： 2021年4月

4. その他

景品をご提供頂いた企業・団体・個人様につきましては、慶應箱根駅伝プロジェクト公式サイトの上ラッフル特設ページにおいて、ご提供者名、ご提供物品の名称・紹介文を掲載させていただきます。

景品のご提供にあたり、当方への送料はご負担いただきますようお願い申し上げます（当方より当選者への送料は当方にて負担させていただきます）。

今年度のラッフル景品のご提供のご連絡は、2021年1月20日まで受付をいたします。